

「ひこね文芸」作品募集と 発表会・講演会・研修会の開催

主 催 彦根文芸協会
後 援 彦根市教育委員会

文芸作品集「ひこね文芸」第41号 刊行

「ひこね文芸」は、皆さんの文芸活動の成果を募り、彦根市唯一の文芸総合誌として、彦根文芸協会が年1回刊行してまいりましたが、今年は第41号を刊行することになりました。例年通り、下記要項により、作品を募集いたします。作風、流派、結社などにこだわらず、既に作家として認められている方も、これから始めてみようと思志す方も、作品発表の場として、多くの方々のご参加を歓迎いたします。

「ひこね文芸」の内容の充実と向上を図るために、野心的かつ個性豊かな、新鮮な作品の登場を期待します。

「ひこね文芸」作品募集要項

1. 応募資格

彦根市、もしくは、その周辺に居住する文芸愛好家、または、市内の文芸団体に所属する方。

2. 部門別規定

- 短歌……………1人3首 題は自由

○俳句……………1人5句 題は自由

○川柳……………1人5句 題は自由

○冠句……………1人5句 (各題合わせて)

必ず別紙応募用紙をご使用ください
- 題 「考える」 「気持ちよく」 「苦勞して」

○詩……………1人1篇 題は自由 400字原稿用紙(縦書き) 2枚以内

○随筆・評論……………1人1篇 題は自由 400字原稿用紙(縦書き) 3枚～5枚以内

○小説……………1人1篇 題は自由 400字原稿用紙(縦書き) 5枚～7枚以内
- 印字の場合は、A4用紙を用いて〈随筆・評論 30文字×66行〉
〈小説 30文字×93行〉以内を厳守願います

3. 応募方法

- 応募用紙には、**A** (短歌・俳句・川柳・冠句部門) と **B** (詩・随筆・評論・小説部門) があります。それぞれの部門の応募用紙に記入してください。
- 複数部門に応募の際は、部門ごとに用紙を改めてください。
- 作品中に挿入文・資料のある場合は、該当部分をコピーし、添付してください。また、参考文献・出典名も文末に記載してください。
- 個人情報に関する項は、文集の作成・配布以外には使用いたしません。作品処理が終わりましたら廃棄します。なお、作品の新聞紙上等への転載を望まれない方は、応募用紙の欄に明示してください。

4. 会費および投稿料・送料

- 会費は、投稿料および「ひこね文芸」誌代を合わせて、1部門につき、次のとおりとします。
- ◇短歌・俳句・川柳・冠句部門……1,000円
 - ◇詩部門……1,200円
 - ◇随筆・評論・小説部門……1,500円
- 送料は、1部門につき200円とします。(切手も可)
- 複数部門に応募される場合は、部門数合計分を申し受けます。
- 会費および投稿料・郵送料は、応募作品と一緒に到着するようお送りください。郵便小為替が便利です。手数料は本人負担となります。

(裏面へ続く)

「ひこね文芸」第41号 応募用紙 A

作品記入について
①本紙は、このままを印刷原稿にしますので、楷書ではつきりと記入してください。
②できるだけ常用漢字およびその字体で記入してください。
③使用した仮名遣いを該当欄に○印をしてください。
④黒色ボールペンで記入してください。鉛筆、万年筆、筆などは用いないでください。
⑤封筒のおもてに必ず部門名を朱書してください。

きりとりせん

- 冊子受取方法(□に✓をいれてください。)
- ☐ 発表会場で受け取る

☐ 図書館で受け取る(11月末日まで)

☐ 郵送希望(郵送料200円を同封してください)

作 品					仮 名 遣 い		部 門				
短歌：3首 俳句：5句 川柳：5句 冠句：5句					新 旧		(該当する部門名を○で囲む)				
							冠句	川柳	俳句	短歌	
							住所 (番地まで記入してください)		氏名 (本名)		ふりがな
							〒		必ず記入してください		
									雅名 (ペンネーム)		掲載希望の方のみ記入してください
							電話番号 (市外局番)				
							注)希望されない方は該当の部分に○印をつけてください。				
							() 添削不可 (明らかな誤記等は訂正します)				
							() 転載不可 (新聞等への)				

「ひこね文芸」第41号 応募用紙 B

(詩・随筆・評論・小説用)

作品に添付してください

応募部門	詩 随筆 評論 小説 (○で囲む)
氏名	ペンネーム()
住所	〒
電話	
冊子の受取方法 □に✓してください	☐ 発表会場で受け取る
	☐ 図書館で受け取る (11月末日まで)
	☐ 郵送希望(郵送料200円を同封してください)
添削・転載	☐ 添削不可 ☐ 転載不可

彦根文芸協会 役員 (理事)

短歌	河分 武士 (会長)	長谷川紀子 (代表)	森 典子	西山 安子
	日下 英治			
俳句	勝又千恵子 (代表)	成宮 伯水	林 尚子	
	北川 則子 (子ども文芸)	堀田 民		
川柳	森口ゆめみ (代表)	浅井 利行 (監事)	重森 恒雄	
	島田 洋子	清水 容子		
冠句	今井三日月 (代表)	西山 肇		
詩	やまかみまさよ (代表・監事)	谷口 明美 (子ども文芸)	尾崎与里子	西村 和野
随筆・評論	成宮恵津子 (代表)	成宮 為夫	山口 正明	
小説	山口 一 (副会長・編集)	藤本 弘子 (会計)		
参与	田中 淑介			

■問い合わせ先

このことについてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

☎28-1808 (FAX共)

彦根文芸協会 会長 河分 武士

5. 「ひこね文芸」第41号の配布

「ひこね文芸」第41号は、応募者全員に、「ひこね文芸」発表会 (裏面参照) にて配布いたします。
郵送を希望される場合は、1部門につき送料200円(切手可)を会費と一緒にお送りください。
(それ以後は、10月25日(水)から11月末日までの間、市立図書館受付にてお渡しいたします。)

6. 応募締切

令和5年7月10日(月) (当日消印有効)

7. 作品および会費の送り先

〒522-0001 彦根市尾末町8-1 彦根市立図書館内 彦根文芸協会
または、各部門の理事 (下記役員名簿参照)。ただし、理事宛の場合は手渡しに
限ります。

8. その他

- (1) 応募作品は既発表の有無を問いません。
- (2) 応募作品に対して、役員により、誤字等を訂正したり、不掲載とする場合があります。添削を希望
されない方、また、新聞等に転載を希望されない方は、その旨を用紙に明記してください。
- (3) 応募された作品は、返却いたしません。

「ひこね文芸 第41号」発表会

日時 令和5年10月21日(土) 午後1時30分から
会場 彦根市東地区公民館
彦根市大東町1-26 (彦根駅近く) ☎24-4951
(駐車場が狭いので、そのおつもりでお出かけください。路上駐車厳禁)

《第1部》 文芸講演会

演題 「五感と文芸」

講師 滋賀県立大学 地域共生センター
特任講師 上田 洋平 氏

プロフィール 滋賀大学 非常勤講師
滋賀県文化審議会 委員
特定非営利活動法人 碧いびわ湖 理事

《第2部》 研 修 会 “学び合いましょう”

講演会後、各部門に分かれて、応募作品に対する批評・質疑応答・意見交換
など、それぞれの部門についての研修を行います。多数ご参加ください。